

令和7～9年度磐南浄化センター計装設備点検業務

特記仕様書

1. 目的

本業務は、専門的見地から対象設備を点検し、劣化及び不具合の状況を把握し、保守の措置を適切に講ずることにより、下水道施設の運転に必要な総合的機能の維持を目的とする。

2. 施設概要

計画処理水量： 日最大汚水量 66,000 m³/日(分流式)

処理方式 : 水処理方式 標準法

汚泥処理方式 重力・機械濃縮、脱水、焼却

3. 業務内容

本業務の項目は次のとおりである。

- (1) 令和7年磐南浄化センター計装設備点検業務
- (2) 令和8年磐南浄化センター計装設備点検業務
- (3) 令和9年磐南浄化センター計装設備点検業務

4. 対象設備

別紙1-1、1-2による。

5. 点検内容

別紙2-1,2-2に示す事項と同等以上の点検を実施すること。

別紙3に示す消耗部品を交換すること。

6. 修繕内容

別紙4に示す計器について修繕を実施すること。

7. 作業計画

- (1) 作業日は事前に監督員、運転管理者等と協議し、決定する。
- (2) 汚泥処理計装設備の点検は、汚泥濃縮棟・汚泥処理棟の棟毎に実施する。

8. 一般事項

(1) 特記仕様書及び磐南浄化センター業務委託一般仕様書において明記がない場合は、下記の図書を準用する。また、下記の図書に明記がない場合または準用が困難な場合は、監督員と協議の上、業務を履行すること。

① 日本下水道事業団 電気設備工事一般仕様書・同標準図

② 日本下水道事業団 電気設備工事必携

なお、磐南浄化センター業務委託一般仕様書は当事業団ホームページに掲載している。

掲載 URL: <https://www.jswa.go.jp/nyusatsu/bannan/bannanjouhou.html>

(2) すべての交換部品は、既設品同等以上の性能・品質のものを使用すること。調達が不可能で既設品に劣る部品を用いる時は、性能・品質を比較できる資料を提出し監督員の承諾を得ること。

(3) 作業中は適切な養生等を行い、他の機器を傷つけないように注意すること。

(4) 必要により、酸素及び硫化水素濃度の測定、十分な換気の実施、作業員への教育等、安全対策を徹底すること。また労働安全衛生法等を遵守し、監督員の指示に従い安全に作業を行うこと。

(5) 今後5年間における該当設備の点検計画及び、修繕と消耗部品の交換計画を一覧表にまとめて提出すること。

(6) 次回の業務にて施工を要する交換部品等を一覧表にまとめ、その箇所を朱書きで示した図面を添付して提出すること。

(7) 特に明記なき場合でも、必要に応じ下記の作業を行う。

① 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃

② 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整

③ ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め

④ 次に示す消耗部品の交換または補充

i 潤滑油、グリス、充填油等

ii ランプ類、ヒューズ類

ii パッキン、ガスケット、Oリング類

⑤ 接触部分、回転部分等への注油

⑥ 軽微な損傷がある部分の補修

⑦ 塗装（タッチペイント）

(8) 製造メーカーの基準に準拠した測定器具を使用し、製造メーカーが推奨する試験方法を実施すること。なお、測定器具等は受注者の負担により準備すること。

(9) 対象設備を取り外して点検、整備、測定等を行う場合は、取り外し箇所をマーキングし、緩みや過度な締めつけのないようトルク値を管理する。

(10) 電気回路の閉鎖あるいは解放を行う場合、作業時に対象箇所を明確にして端子の養生を確実にすること。

9. その他

・交換済みの部品は指定の場所へ運搬し、水銀を含有する部品がある場合は明確にすること。

・MLSS 計の校正のための採水は、運転管理業者の手分析と合わせて実施すること。

・校正標準液・校正用ガス等は受注者で準備すること。

・本業務にて発生した産業廃棄物は関連法令に基づき適切に処分すること。ただし、監督職員より別途指示があった場合は、その指示に従うこと。

・同じ年度に修繕したものは点検対象外とする。

10. 提出書類

委託契約締結後、契約約款、磐南浄化センター業務委託一般仕様書及び本仕様書で定める下記の書類を提出すること。

ただし、No.2～No.6 については各年度の点検毎に提出すること。

No.	図書名	数量	提出期限	内容・備考
1	業務計画書	1部	契約締結から原則 14日以内 (土日含む)	(1)業務概要 (2)実施工程表 (3)現場組織表 (4)有資格者一覧 (5)緊急連絡体制 (6)点検報告書様式 (7)その他
2	作業(試験)要領書	2部	現場作業(試験)日の 2週間前まで	(1)作業(試験)内容 (2)作業(試験)による設備影響 (3)工程表 (4)体制表 (5)交換部品仕様対比表
3	現場作業報告書	2部	現場作業毎	(1)作業内容 (2)作業人数 (3)作業結果(簡易)
4	業務報告書 ※背表紙に業務名、受注者名、完了年月を記載	1部	完了検査まで	(1)業務概要・総括 (2)5年間の点検計画表 (3)業務報告詳細 (4)作業写真 (5)業務計画書 (6)作業報告書
5	電子データ	1部	完了検査まで	全てのデータを格納すること。
6	その他			監督員が必要と認めたもの

※ 不要な項目は監督員と協議すること。

※ 作業(試験)要領書・現場作業報告書の1部は本施設の運転管理業者へ提出すること。

※ 試験要領書の記載事項は「日本下水道事業団 電気設備工事必携」による。

※ 業務報告書は、受注者独自の記号や専門用語の使用は極力控え、点検結果の良否に関する基準を明示すること。

※ 業務計画書は、監督員と協議のうえ点検報告書の様式などを記載すること。

別紙 1 - 1 点検機器一覧表 (水処理計装設備)

1. 溶存酸素濃度 (DO) 計

No	機器名	場所	型式 (変換器)	型式 (検出器)	R7	R8	R9
1	DO計	1-1-4	FLXA402-A-B-AJ-D5-NN-A2-WR-N-N-J-NN/UM/H6*S1.08	D070G	○	○	○
2		1-2-4	SC200 (HACH 製)	LD01	○	○	○
3		1-3-4	D0402G-1-5-J/U/H4*S3	D070G	○	○	○
4		1-4-4	D0402G-1-5-J/U/H4*S3	D070G	○	○	○
5		2-1-4	FLXA402-A-B-AJ-D5-NN-A2-WR-N-N-J-NN/UM/H6*S1.08	D070G	○	○	○
6		2-2-4	FLXA402-A-B-AJ-D5-NN-A2-WR-N-N-J-NN/UM/H6*S1.10	D070G	○	○	○
7		2-3-4	FLXA402-A-B-AJ-D5-NN-A2-WR-N-N-J-NN/UM/H6*S1.08	D070G	○	○	○
8		2-4-4	FLXA402-A-B-AJ-D5-NN-A2-WR-N-N-J-NN/UM/H6*S1.02	D070G	○	○	○
9		3-1-4	FLXA402-A-B-AJ-D5-NN-A2-WR-N-N-J-NN/UM/H6*S1.05	D070G	○	○	○
10		3-2-4	DIQ/S182 (WTW製)	S182	○	○	○
11		3-3-4	FLXA402-A-B-AJ-D5-NN-A2-WR-N-N-J-NN/UM/H6*S1.05	D070G	○	○	○
12		3-4-4	DIQ/S182 (WTW製)	S182	○	○	○

2. 浮遊性懸濁物質濃度 (MLSS) 計

No	機器名	設置場所	型式 (変換器)	型式 (検出器)	R7	R8	R9
13	MLSS計	1-1-4	SSF-1600	SSF-1600	○	○	○
14		1-2-4	SSF-1600	SSF-1600	○	○	○
15		1-3-4	SSF-1600	SSF-1600	○	○	○
16		1-4-4	SS400G-N-1-J/U/H4/X1/AFTG*S2.2	SS300G	○	○	○
17		2-1-4	SS400G-N-1-J/U/H4/X1/AFTG*S2.2	SS300G	○	○	○
18		2-2-4 (3-2-2)	SS400G-N-1-J/U/H2/SCT/X1/Z	SS300G	○	○	○
19		2-3-4	LQ143 A2C2A1A11	LQ143	○	○	○
20		2-4-4 (3-3-2)	LQ143 A2C2A1A11	LQ143	○	○	○
21		3-1-4	SSF-1600	SSF-1600	○	○	○
22		3-2-4	LQ143 A2C2A1A11	LQ143	○	○	○
23		3-3-4	LQ143 A2C2A1A11	LQ143	○	○	○
24		3-4-4	LQ143 A2C2A1A11	LQ143	○	○	○

3. ORP計

No	機器名	設置場所	型式 (変換器)	型式 (検出器)	R7	R8	R9
25	ORP計		HDM-138A	HC-G95	○	○	○
26			HDM-138A	HC-G95	○	○	○
27			HDM-138A	HC-G95	○	○	○
28			HDM-138A	HC-G95	○	○	○

4. 硫化水素 (H₂S) 計

No	機器名	設置場所	型式 (変換器)	型式 (検出器)	R7	R8	R9
29	H ₂ S計	No. 1活性炭出口	GD-70D	ESU-237iF	○	○	○
30		No. 2活性炭出口	GD-70D	ESU-237iF	○	○	○
31		生物脱臭出口	GD-70D	ESU-237iF	○	○	○

5. 用水設備

No	機器名	設置場所	型式 (変換器)	型式 (検出器)	R7	R8	R9
32	No. 1放流流量計	塩素混和池	W4485-10-00	WW4483-11-00	○	○	○
33	No. 2放流流量計	塩素混和池	W4485-10-00	WW4483-11-00	○	○	○
34	残留塩素計	塩素混和池	TOA CLF-120	---	○	○	○

6. その他計器

No	機器名	設置場所	型式 (変換器)	型式 (検出器)	R7	R8	R9
35	pH計	最初沈殿池	TOA HBM-310	GSS304B1	○	○	○
36	pH計	二次処理水	---	---	-	-	○
37	電気伝導度計	最初沈殿池	TOA HDM310	ME-11T (S)	○	○	○
38	電気伝導度計	二次処理水	TOA HDM310	ME-11T (S)	○	○	○

※ ○-△-□は、反応槽の「○ - △系 □槽」を示す。

別紙 1-2 点検機器一覧表（処理棟点検機器一覧表 1/2）

処理棟		令和7年度	令和8年度	令和9年度
No. 1脱水機 No. 1薬品溶解タンク液位	No. 1薬品溶解タンク液位 差圧伝送器	○	○	○
	No. 1薬品溶解タンク液位 ディストリビュータ	○		○
	No. 1薬品溶解タンク液位 指示計	○		○
	No. 1薬品溶解タンク液位 警報設定器(HH/LL)	○		○
	No. 1薬品溶解タンク液位 警報設定器(M)	○		○
	No. 1薬品溶解タンク液位 警報設定器(H/L)	○		○
	ループ試験	○	○	○
No. 1脱水機 No. 2薬品溶解タンク液位	No. 2薬品溶解タンク液位 差圧伝送器	○	○	○
	No. 2薬品溶解タンク液位 ディストリビュータ	○		○
	No. 2薬品溶解タンク液位 指示計	○		○
	No. 2薬品溶解タンク液位 警報設定器(HH/LL)	○		○
	No. 2薬品溶解タンク液位 警報設定器(M)	○		○
	No. 2薬品溶解タンク液位 警報設定器(H/L)	○		○
	ループ試験	○	○	○
No. 2/3脱水機 No. 1薬品溶解タンク液位	No. 1薬品溶解タンク液位 差圧伝送器	○	○	○
	No. 1薬品溶解タンク液位 ディストリビュータ	○		○
	No. 1薬品溶解タンク液位 警報設定器(LL)	○		○
	No. 1薬品溶解タンク液位 警報設定器(M/L)	○		○
	No. 1薬品溶解タンク液位 警報設定器(HH/H)	○		○
	No. 1薬品溶解タンク液位 アイソレータ	○		○
	ループ試験	○	○	○
No. 2/3脱水機 No. 2薬品溶解タンク液位	No. 2薬品溶解タンク液位 差圧伝送器	○	○	○
	No. 2薬品溶解タンク液位 ディストリビュータ	○		○
	No. 2薬品溶解タンク液位 警報設定器(LL)	○		○
	No. 2薬品溶解タンク液位 警報設定器(M/L)	○		○
	No. 2薬品溶解タンク液位 警報設定器(HH/H)	○		○
	No. 2薬品溶解タンク液位 アイソレータ	○		○
	ループ試験	○	○	○
処理水槽貯留タンク水位	処理水槽貯留タンク水位 差圧伝送器	○	○	○
	処理水槽貯留タンク水位 ディストリビュータ	○		○
	処理水槽貯留タンク水位 警報設定器(HH/H)	○		○
	処理水槽貯留タンク水位 警報設定器(M/L)	○		○
	処理水槽貯留タンク水位 警報設定器(L1/未)	○		○
	処理水槽貯留タンク水位 アイソレータ	○		○
	ループ試験	○	○	○
排水槽水位	排水槽水位 投込圧力式水位計	○	○	○
	排水槽水位 警報設定器(HH/LL)	○		○
	排水槽水位 警報設定器(H/L)	○		○
	ループ試験	○	○	○

別紙 1-2 点検機器一覧表（処理棟点検機器一覧表 2/2）

処理棟		令和7年度	令和8年度	令和9年度
No. 1汚泥貯留槽液位	No. 1汚泥貯留槽液位 レーダー式水位計	○	○	○
	No. 1汚泥貯留槽液位 警報設定器(HH/H)	○		○
	No. 1汚泥貯留槽液位 警報設定器(M1/M2)	○		○
	No. 1汚泥貯留槽液位 警報設定器(L1/L2)	○		○
	No. 1汚泥貯留槽液位 警報設定器(LL)	○		○
	No. 1汚泥貯留槽液位 指示計	○		○
	No. 1汚泥貯留槽液位 I/V	○		○
	ループ試験	○	○	○
No. 1脱水機 薬品供給量	No. 1脱水機薬品注入量 電磁流量計 検出器		○	
	No. 1脱水機薬品注入量 電磁流量計 変換器		○	
	No. 1脱水機薬品注入量 指示計		○	
	No. 1脱水機薬品注入量 アイソレータ		○	
	ループ試験	○	○	○
No. 1脱水機汚泥供給量	No. 1脱水機汚泥供給量 電磁流量計 検出器		○	
	No. 1脱水機汚泥供給量 電磁流量計 変換器		○	
	No. 1脱水機汚泥供給量 指示計		○	
	No. 1脱水機汚泥供給量 アイソレータ		○	
	ループ試験	○	○	○
No. 1脱水機汚泥供給	No. 1脱水機汚泥供給 濃度計	○	○	○
	No. 1脱水機汚泥供給濃度 指示計	○		○
	No. 1脱水機汚泥供給濃度 アイソレータ	○		○
	ループ試験	○	○	○
No. 3脱水機汚泥供給	No. 3脱水機汚泥供給 濃度計	○	○	○
	No. 3脱水機汚泥供給濃度 指示計	○		○
	No. 3脱水機汚泥供給濃度 アイソレータ	○		○
	ループ試験	○	○	○
一般共通計器 アイソレータ	No. 1, 2汚泥供給ポンプ アイソレータ	○	○	○
	脱水機給泥量設定 アイソレータ	○	○	○
	脱水機供給汚泥入口圧力設定 アイソレータ	○	○	○
	薬品供給比率設定（左） アイソレータ	○	○	○
	薬品供給比率設定（右） アイソレータ	○	○	○
	No. 1脱水機本体回転数 アイソレータ	○	○	○

別紙 1-2 点検機器一覧表（濃縮棟点検機器一覧表 1/1）

濃縮棟		令和7年度	令和8年度	令和9年度
余剰汚泥貯留槽液位	余剰汚泥貯留槽液位 差圧伝送器	○	○	○
	余剰汚泥貯留槽液位 ディストリビュータ	○		○
	余剰汚泥貯留槽液位 指示計（広角度）	○		○
	余剰汚泥貯留槽液位 指示計（縦型）	○		○
	余剰汚泥貯留槽液位 信号分配器	○		○
	余剰汚泥貯留槽液位 警報設定器(LL/予備)	○		○
	余剰汚泥貯留槽液位 警報設定器(L1/L2)	○		○
	余剰汚泥貯留槽液位 警報設定器(M1/M2)	○		○
	余剰汚泥貯留槽液位 警報設定器(HH/H)	○		○
	ループ試験	○	○	○
濃縮汚泥貯留槽液位	濃縮汚泥貯留槽液位 差圧伝送器	○	○	○
	濃縮汚泥貯留槽液位 ディストリビュータ	○		○
	濃縮汚泥貯留槽液位 指示計（広角度）	○		○
	濃縮汚泥貯留槽液位 指示計（縦型）	○		○
	濃縮汚泥貯留槽液位 信号分配器	○		○
	濃縮汚泥貯留槽液位 警報設定器(LL/予備)	○		○
	濃縮汚泥貯留槽液位 警報設定器(L1/L2)	○		○
	濃縮汚泥貯留槽液位 警報設定器(M1/M2)	○		○
	濃縮汚泥貯留槽液位 警報設定器(HH/H)	○		○
	ループ試験	○	○	○
No. 1分離液槽液位	No. 1分離液槽液位 差圧伝送器	○	○	○
	No. 1分離液槽液位 ディストリビュータ	○		○
	No. 1分離液槽液位 指示計（広角度）	○		○
	No. 1分離液槽液位 指示計（縦型）	○		○
	No. 1分離液槽液位 信号分配器	○		○
	No. 1分離液槽液位 警報設定器(LL/予備)	○		○
	No. 1分離液槽液位 警報設定器(L1/L2)	○		○
	No. 1分離液槽液位 警報設定器(M1/M2)	○		○
	No. 1分離液槽液位 警報設定器(HH/H)	○		○
	ループ試験	○	○	○
No. 1余剰汚泥流量	No. 1余剰汚泥流量 電磁流量計 検出器		○	
	No. 1余剰汚泥流量 電磁流量計 変換器		○	
	No. 1余剰汚泥流量 指示計		○	
	ループ試験	○	○	○
濃縮汚泥移送流量	濃縮汚泥移送流量 電磁流量計 検出器		○	
	濃縮汚泥移送流量 電磁流量計 変換器		○	
	濃縮汚泥移送流量 指示計（広角度）		○	
	濃縮汚泥移送流量 指示計（縦型）		○	
	ループ試験	○	○	○
濃縮汚泥流量	濃縮汚泥流量 電磁流量計 検出器		○	
	濃縮汚泥流量 電磁流量計 変換器		○	
	濃縮汚泥流量 指示計		○	
	濃縮汚泥流量 信号分配器		○	
	濃縮汚泥流量 積算計		○	
	濃縮汚泥流量 積算演算器		○	
	ループ試験	○	○	○
余剰汚泥濃度	余剰汚泥濃度計	○	○	○
	余剰汚泥濃度 指示計（広角度）	○		○
	余剰汚泥濃度 指示計（縦型）	○		○
	ループ試験	○	○	○
重力濃縮汚泥濃度	重力濃縮汚泥濃度計	○	○	○
	重力濃縮汚泥濃度 指示計（広角度）	○		○
	重力濃縮汚泥濃度 指示計（縦型）	○		○
	ループ試験	○	○	○

別紙2-1 点検内容（水処理計装設備）

	点 検 項 目	備 考
共通事項	目視点検	
	内外部清掃	
	端子点検増締め	
	電源電圧測定	検査可能な限りとする
	絶縁抵抗測定	検査可能な限りとする
	パラメータ値の確認	
	ゼロ・スパン調整	
	入出力特性試験	
	消耗・劣化部品の交換	
	ループ試験	

計 器	点 検 項 目	備 考
DO計	検出器洗浄・点検	
MLSS計	検出器洗浄・点検	
	サンプル液データに基づく実液校正	
ORP計	検出器洗浄・点検	
	標準液校正	
	等価入力試験	
硫化水素計	大気によるゼロ点確認・調整	
	テストガスによる校正	
	警報動作確認	
堰式流量計	検出器洗浄・点検	
	実圧入力試験	
	実水位によるゼロ点調整	
残留塩素計	測定部洗浄・点検	
	試料水量確認	
	検出電極の回転点検	
pH計	検出器洗浄・点検	
	標準液校正	
	等価入力試験	
電気伝導度計	検出器洗浄・点検	
	温度補償試験	
	等価入力試験	

※ 監督員と協議し、不要と認めた項目は対象外とする。

※ 点検項目は必要に応じて追加すること。

別紙2-2 点検内容（汚泥処理計装設備）

	点検項目	備考
共通事項	目視点検	
	内外部清掃	
	端子点検増し締め	
	電源電圧測定	検査可能な限りとする
	絶縁抵抗測定	検査可能な限りとする
	パラメータ値の確認	
	ゼロ・スパン調整	
	入出力特性試験	
	消耗・劣化部品の交換	
	ループ試験	

計器	方式	特記事項	備考
水位計	圧力式	ゼロ点調整は大気圧を用いること。	
		実圧をかけスパン調整を行うこと。	
	超音波式	検出器を引き上げて状態確認を行うこと。	
		実測値は実水位を測定すること。	
	レーダー式	検出器を引き上げて状態確認を行うこと。	
		実測値は実水位を測定すること。	
流量計	電磁式	抵抗値測定を電極相互間および励磁回路相互間で行うこと。 計測値が乖離している場合、分解後にライニング部の点検・調査を実施すること。（分解・復旧は発注者）	
濃度計	レーザー光式	検出器の取付確認	
		洗浄機能の確認	
		ゼロ・スパン校正は検量線を作成して行うこと。	

※ 監督員と協議し、不要と認めた項目は対象外とする。

※ 点検項目は必要に応じて追加すること。

別紙3 交換部品一覧表 1/2

1. 機器

	品名	型式	単位	令和7年度 数量	令和8年度 数量	令和9年度 数量	備考
DO計							
	センサーキャップ	SC-FD0	個	2	2	2	
	センサーキャップ	K9679AN	個	9	9	9	
	Oリング	K9142QV	個	9	9	9	
MLSS計							
	Oリング	K9432QD	個	3	3	3	
	シリカゲル	143C130	個	16	16	16	
	Oリング	115A633	個	4	4	4	
ORP計							
	白金電極	HP300	個	4	4	4	
	液絡部チップ	JC300	個	4	4	4	
	飽和KCL溶液ゲル	3M 100mL	本	2	2	2	支給品 (2台で1本)
残留塩素計							
	検出電極 (2132用)	EL2132-P	個	1	1	1	
	ユニチューブ #20	116E062	m	1	1	1	
	ユニチューブ #30	116E064	m	1	1	1	
	セラミックビーズ	123G007	個	1	1	1	
	テフロンチューブ	116D012	m	1.5	1.5	1.5	
	Zユニオンスリーブ	117B402	個	4	4	4	
PH計							
	PH計電極チップ	HGS300	個	1	1	2	
	液絡部チップ	JC300	個	1	1	2	
	飽和KCL溶液ゲル	3M 100mL	本	1	1	2	支給品

別紙3 交換部品一覧表 2/2

1. 機器

	品名	型式	単位	令和7年度 数量	令和8年度 数量	令和9年度 数量	備考
硫化水素計							
	ガス検知部センサー	ESU-237iF	台	3	3	3	
	MEMSフローセンサー	D6F-00007AM-R	個		3		
	ボルストンフィルター	CF-8369	個	2	2	2	
	コマ型ミリポアフィルター	1670331180	個	1	1	1	
	ポンプユニット	RP-70	個	-	3	-	
差圧式伝送器							
	テフロンガスカート	80A10K	個	8	8	8	
投込式水位計							
	ベロフラム	----	個	1	1	1	
	ナイブライン液	----	本	1	1	1	
	Oリング	P-55	個	1	1	1	

2. 材料

	品名	型式	単位	令和7年度 数量	令和8年度 数量	令和9年度 数量	備考
ORP計							
	ORP標準液	143F196	本	4	4	4	
PH計							
	標準液 (pH7)	500ml	本	1	1	2	
	標準液 (pH4)	500ml	本	1	1	2	
硫化水素計							
	校正用テストガス	0.4 ppm	式	1	1	1	

別紙4 修繕内容

・目的

塩素混和地の水質を確認するため、pH計の設置及び試運転を実施し、機器の正常な稼働を確認する。

・履行期間

令和8年4月1日～令和9年3月12日

・仕様

詳細仕様は下記の通りとする。

pH計(放流水計測用)

- ・測定方式 : ガラス電極法
- ・pH測定範囲 : 1.0~14.0を含むこと
- ・pH測定精度 : ±0.1
- ・伝送出力 : 4~20mA
- ・設置方式 : スタンド型

※最初沈殿池に設置されるpH計と同等以上の性能を有すること。

・その他

- (1) 機器の詳細仕様及び施工については監督員の承諾を得て実施する。
- (2) 設置完了後、試運転を行い機器の正常な動作を確認する。
- (3) 調整は本機器にかかるものとし、中央監視設備については対象外とする。
- (4) 既存の機器は浄化センター内の監督員指定個所に運ぶものとする。
- (5) 本仕様書に明記されない事項についても、設置上、当然必要とされるものについては納入者の費用をもって施工するものとする。
- (6) 納入日時に制約は設けないが、事前に監督員と調整し、不備のないようにする。
- (7) 納入した機器に関して1年以内に発生した不具合については、監督員の支持に従い無償にて修理、交換など必要な措置を行う。ただし、納入者に責任がないことが明確な場合はこの限りではない。
- (8) そのほかの質疑および調整については監督員と協議し、決定するものとする。